

【施策18】 地域における身近な文化・スポーツ環境を整備します

【施策の現状】

文化・スポーツは、人々の暮らしに潤いや生きがいをもたらし、豊かな感性や創造性をもった人づくり、魅力ある地域づくりの原動力になることから、本県の文化を再認識し、守り、伝え、育み、活かしていくことが大切です。

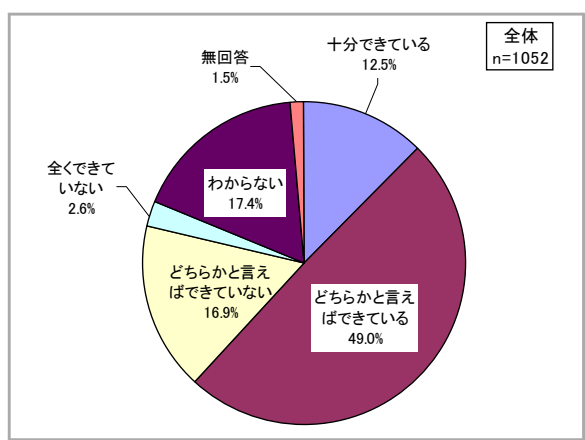
本県は、「合唱王国ふくしま」に代表される芸術文化、暮らしの中で培われてきた生活文化など、彩り豊かな文化を育んできました。特に、合唱や吹奏楽等の音楽部門を中心として全国レベルで高い評価を得る小・中・高等学校が増えています。

また、総合型地域スポーツクラブ²⁹の創設・育成・定着の支援をするなど、だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも気軽にスポーツに親しむ環境づくりを図ってきたところです。

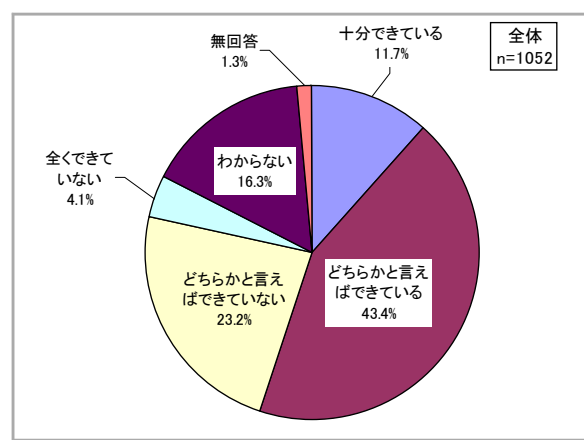
各競技では、世界を舞台に活躍する選手を数多く輩出するなど、競技力向上を図ってきたところです。

県民アンケートでは、「地域の文化活動の進展に向けた環境づくり」、「生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境づくり」について、「どちらかと言えど」とも含め、できていると答えた県民の割合は、それぞれ61.5%、55.1%で、半数以上が、できていると感じているという結果が出ています。

〔地域の文化活動の進展に向けた環境づくり（全体）〕



〔生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境づくり（全体）〕



【基本的方向性】

- ・ 県民が、年間を通して芸術活動などを鑑賞できる機会や自ら発表できる場を設け、県民参加による文化の振興を図ります。
- ・ 地域に根ざした文化的資源を活かした文化振興に取り組み、地域の活性化を図ります。（再掲）

²⁹ 総合型地域スポーツクラブ…… 26 ページ参照。

- ・ 第35回全国高等学校総合文化祭⁹⁷（ふくしま総文）の成果を継承・発展させ、児童生徒の文化・芸術活動を推進します。
- ・ 県民の日常生活にスポーツが根ざすよう、自らスポーツをする、みる、ささえる活動の場づくりや地域の一体感を高めるスポーツ環境の整備を図ります。
- ・ 本県競技者の国際大会や全国大会等での活躍が県民に夢と希望、誇りを醸成する観点から、トップアスリートを育成する競技力の向上を一層図ります。
また、県内のスポーツ指導者の指導力の向上に努めます。

【今後の取組】

- ◇ 優れた文化芸術の鑑賞と文化活動の発表・参加の機会の充実
県民の文化活動を振興し、日ごろの文化活動の成果を発表する場の充実を図るとともに、トップレベルの芸術・文化に身近に触れ親しむ機会の充実を図り、県民の文化活動への参加を促進させます。
また、本県文化振興の中心施設である県立美術館、県立博物館について、美術作品等の収集と調査研究を計画的に推進し、常設展、企画展、教育普及事業の充実を図ります。
- ◇ 文化的資源を活かした地域活性化の推進（関連施策：施策13）
さまざまな文化的資源を活用し、また本県ゆかりの歴史上の人物を取り上げる取組などで地域活性化を促進することにより、地域の一体感や誇りの醸成を図ります。
- ◇ 第35回全国高等学校総合文化祭の成果の継承・発展による児童生徒の文化・芸術活動の推進
第35回全国高等学校総合文化祭（ふくしま総文）の成果を継承・発展させ、本県の再生・復興に繋げるため、地域の伝統芸能をはじめとする文化・芸術活動に取り組む高校生や小中学生の活動を支援します。
- ◇ スポーツ環境の整備
総合型地域スポーツクラブ²⁹の創設・育成・定着の支援や「ふくしまの顔」となりうるシンボルスポーツ⁹⁸やシンボルスポーツチームについて、機運の醸成を図りながら、その創出に取り組むなど、身近にスポーツに触れ親しむことのできる場づくりに努めます。

²⁹ 総合型地域スポーツクラブ……26ページ参照。

⁹⁷ 全国高等学校総合文化祭……全国や海外から2万人を超える高校生が参加し、演劇や合唱をはじめとした19の規定部門でコンクールや発表、競技が行われる、文化部のインターハイとも呼ばれる高校生の芸術文化の祭典。平成23年年度、本県において第35回大会が開催された。

⁹⁸ シンボルスポーツ……「ふくしまの顔」として地域の活性化と大きな経済効果をもたらす可能性を有するスポーツやチーム。

◇ 競技力の向上

日本トップレベルの指導者が持つノウハウの継承と県内指導者への活用を図ります。

また、優秀な指導者の養成・確保・活用など、指導環境を充実させることにより、優れた競技者の育成を図ります。

〔施策18 指標〕

指標名	現況値	目標値	備考
県芸術祭参加行事数	H24年度 77 (参考 H22年度 81)	H32年度 85以上	
全国高等学校総合文化祭 ⁹⁷ への県内高等学校からの出場生徒数	H22年度 228人	H32年度 増加を目指す	モニタリング指標
高校生の文化部加入率（県立・私立高等学校全日制課程）	H23年度 34.0% (参考 H22年度 36.9%)	H32年度 上昇を目指す	モニタリング指標
生涯スポーツ関連行事の開催回数・人数	H23年度 1,523回 (参考 H22年度 2,781回) 144,930人 (参考 H22年度 328,570人)	H32年度 2,800回 329,000人	
国民体育大会天皇杯順位	H24年度 43位 (参考 H22年度 43位)	H32年度 30位	
運動部加入率（公立中学校、県立高等学校全日制課程）【再掲】	H24年度 (参考 H22年度) 高校生 48.5% (46.6%) 中学生 76.0% (76.4%)	H32年度 高校生 上昇を目指す 中学生 上昇を目指す	モニタリング指標 モニタリング指標
文化財センター白河館の入館者数【再掲】	H23年度 22,528人 (参考 H22年度 28,231人)	H32年度 30,000人	

⁹⁷ 全国高等学校総合文化祭……74ページ参照。